

平成20年3月6日

～「京都駅ターミナル整備工事起工祝賀会」説明資料～

京都駅ターミナル整備工事の概要と進捗について

近鉄では、現在推進中の「近鉄グループ経営計画」に基づき、主要ターミナルの整備を進めておりますが、このうち京都駅については、当社沿線への玄関口にふさわしい駅に再整備するために、総工費約120億円の整備計画を策定し、4号線の新設、ホテルの新設、高架下店舗のリニューアル等を行うことで、鉄道事業、ホテル事業、不動産事業など当社のコア事業の強化を図ることとしております。

既に改札口付近の工事や高架下店舗「近鉄名店街」の撤去工事には着手してはりましたが、いよいよ平成20年4月から、新設部分（4号線新設、ホテル新設）について本格着手することとし、本日起工祝賀会を執り行う運びとなりました。

整備計画の概要と進捗について、以下ご説明いたします。



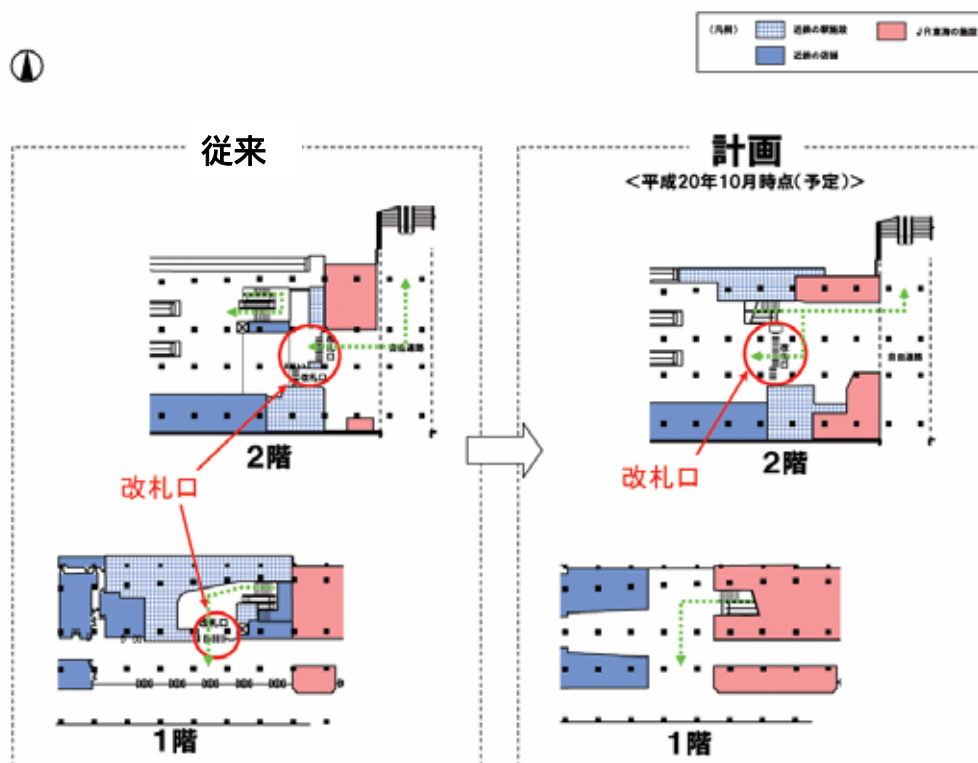
完成後の4号線およびホテル外観イメージ（北西から南東を望む）

1 . 改札統合および4号線新設計画

- (1) 1階改札口(八条口)の駅施設を2階中央口へ移設・統合し、階段・エスカレーターを構外に設置することで、お客様に分かりやすく便利な駅とします。
併せて改札口周辺的美装化を図り、当社沿線への玄関口にふさわしい駅にリニューアルします。
既に平成19年11月末に1階改札口を閉鎖しており、出札窓口など一部美装化を進めています。
- (2) 現在3線の線路の北側に1線増設(6両長ホーム)して4線化することにより、列車の折り返し時間の延長などを行い、お客様のホームでの待ち時間を減らすなどサービス向上を図ります。
(資料1「京都駅位置図」および資料2「計画断面図」を参照願います)
- (3) この工事に併せて、駅構内店舗の新設等を行います。
- (4) 今後の予定

平成20年 4月	4号線新設工事着手
平成20年10月	構外階段・エスカレーター供用開始
平成24年 春	4号線新設完了
- (5) 投資額 約38億円

改札統合計画図



改札口完成イメージ



3

2. 高架下店舗施設「近鉄名店街」リニューアル計画

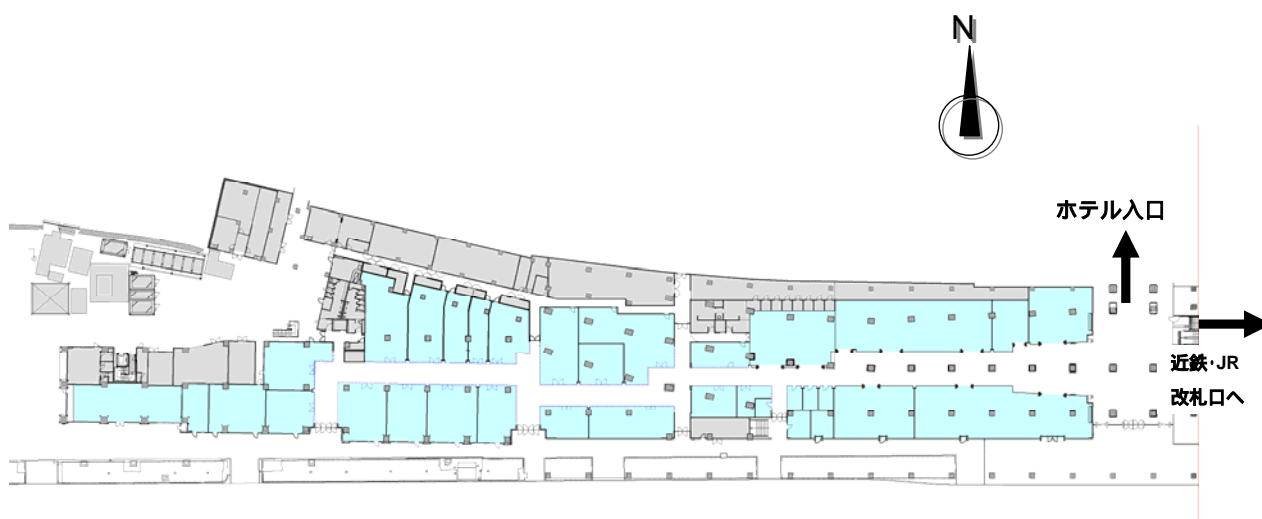
昭和39年のオープン以来、皆様にご愛顧頂いてきた「近鉄名店街」については、全面的なリニューアルを施すため、平成19年11月末から閉鎖しています。

(資料1「京都駅位置図」、資料2「計画断面図」を参照願います)

- (1) 開業予定日 平成20年10月
- (2) 店舗面積を、従来の2,800㎡から約3,400㎡に増床します。
- (3) 「おもてなしの心」をテーマに、観光のお客様と地元のお客様をターゲットとして店舗やサービスを再構築します。
- (4) 「モダン古都スタイル」を環境コンセプトとして、「古都」のイメージを現代の建築素材で表現して親しみが感じられる空間を創造し、外装や共用通路を京都の南玄関口にふさわしい施設へと一新します。
- (5) 投資額 約33億円

4

「近鉄名店街」リニューアル後平面図



5

リニューアル後「近鉄名店街」イメージ



6

「近鉄名店街」南側外観イメージ



7

3 . 宿泊特化型ホテル建設計画

(別添資料1「京都駅位置図」および資料2「計画断面図」を参照願います)

- (1) 新設する4号線の上空を高度利用し、駅に直結した好立地に、地上8階建て、客室数368室のホテルを建設します。
- (2) 近接する「新・都ホテル」、東山にある「ウェスティン都ホテル京都」の既存2ホテルは、シティホテルとしての様々な機能(宿泊、料飲、宴会、婚礼など)を持っていますが、新ホテルについては、ホテル機能を宿泊に特化させます。
- (3) 既存2ホテルに比して、客室サイズはコンパクト化し、価格帯もエコノミークラスを想定していますが、客室内装へのインテリアデザイナーの起用や宿泊客専用ラウンジの設置等により、お客様が同価格帯の周辺ビジネスホテルよりもお値打ち感を感じることのできる高品質エコノミークラスとします。
- (4) それぞれ特色を持たせた3つのホテルで、京都における全ての顧客ニーズに応えたいと考えています。

開業予定	平成23年秋
客室数	368室
延床面積	約13,500㎡
構造	鉄筋コンクリート造 地上8階 地下なし
投資額	約49億円

8

ホテル北側外観イメージ



9

(資料1) 京都駅位置図



10

(資料2) 計画断面図

